allcinema

ピアース・ブロスナン　サルベーション（2011）

SALVATION BOULEVARD

メディア 映画
ジャンル コメディ　サスペンス
製作国　アメリカ
時間　94分
公開情報 劇場未公開

【解説】

ラリー・バインハートの小説を「007」シリーズ、「ゴーストライター」のピアース・ブロスナン主演で映画化したブラック・コメディ。神の名の下に自らの罪から逃れようとする不届きな聖職者と、彼によって罠にはめられる平凡な男が、聖職者を盲信する信者を巻き込んで大騒動を繰り広げるさまをブラックな笑いで綴る。共演はグレッグ・キニア、エド・ハリス、ジェニファー・コネリー。監督は「ジョシュア　悪を呼ぶ少年」のジョージ・ラトリフ。

新興宗教“三千年教会”の牧師ダン・デイは、その魅力溢れるルックスと話術で、人々を惹き付けていた。ある時、ダンは無神論者の大学教授ブレイロックと討論会を行う。２人の舌戦を、ダンの熱狂的なファンであるグウェンとその夫カールも見守っていた。その夜、ダンと教授はカールも交えて酒を酌み交わす。その最中、ダンが持っていた銃が突然暴発、教授は撃たれて意識不明に。ところがダンは、動揺するカールを言いくるめて教授が自殺したように偽装工作を行うのだった。さらにダンは自分に疑惑の目が向き始めるや、今度はカールに罪をかぶせようと画策し始める。

【クレジット】

監督	ジョージ・ラトリフ	George Ratliff	
製作	キャシー・シュルマン	Cathy Schulman	
	ピーター・フラックマン	Peter Fruchtman	
	セリーヌ・ラトレイ	Celine Rattray	
製作総指揮	ゲイリー・ハミルトン	Gary Hamilton	
	ヴィクター・サーミス	Victor Syrmis	
	スカーレット・レイシー	Scarlett Lacey	
	アンドリュー・ソーヤー	Andrew Sawyer	
	ニール・カッツ	Neil Katz	
	カーク・ダミコ	Kirk D'Amico	
原作	ラリー・バインハート	Larry Beinhart	
脚本	ダグ・マックス・ストーン	Doug Max Stone	
	ジョージ・ラトリフ	George Ratliff	
撮影	ティム・オアー	Tim Orr	
プロダクションデザイン	クラーク・ハンター	Clark Hunter	
衣装デザイン	リン・ファルコナー	Lynn Falconer	
編集	マイケル・ラヘー	Michael LaHaie	
音楽	ジョージ・Ｓ・クリントン	George S. Clinton	
出演	ピアース・ブロスナン	Pierce Brosnan	ダン・デイ
	ジェニファー・コネリー	Jennifer Connelly	グウェン
	エド・ハリス	Ed Harris	ブレイロック

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

グレッグ・キニア	Greg Kinnear	カール
マリサ・トメイ	Marisa Tomei	
イザベル・ファーマン	Isabelle Fuhrman	
キアラン・ハインズ	Ciaran Hinds	
ジム・ガフィガン	Jim Gaffigan	
ユル・ヴァスケス	Yul Vazquez	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.